

新歓ラン [5月25日(日)]

嶋田恵三

一年ボリのサイクリング"ということど、
ても楽しみにしていたのであります。しかし、新
歓コンパにつづいてこの日も、天は我を見はな
したのであります。

出発前に三浦¹が「また、ころぼんじやない
かなあ。」などと冗談半分に言っていたら、それが
現実となってしまうのです。うでをすりむい
た三浦を見て笑っていると、三浦¹いわく

「もう、ころびたくないよ。今度ころびそうに
な、たは誰かにしか"みつこう。」

などと、これも冗談で言ったのでしようが、また
また現実となってしまうのです。

多摩川のサイクリング"ロード"を先頭が名
取さんで、僕¹は3番めを走っていたので
す。そして、三浦¹は僕の後ろを走っていたので

あります。日曜日ということでも僕たちがたくさんサイクリングロードに来ていました。中にはたちの悪いがキがいて、サイクリングロード上に自転車を置いて通せんぼしているのです。

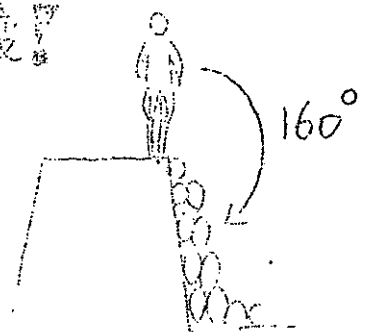
しかたなく先頭の名取さんはストップします。

先頭から順に止まり、僕も止まりました。

しかし、三浦¹は止まりません。僕が前方でじっとしているがキどもに気をとられていると、後方から「うお〜ん」というあさましい叫び声。何事かと振り返ろうとした、まさにその瞬間、三浦¹は自転車とともにあさましい勢いで僕の自転車に衝突。おかげで

三浦¹のほうはストップしたが、三浦¹の運動エネルギーをもらった私はもう大変！

土手のはじに立っていた私はそのままたら頭からころけ²落ちるところでしたか！



と、急にハンドルを切って自転車で乗ったま
ま土手を急降下。そして下まで降りてからぶつ
たおれたのであります。ハンドルが曲がった
だけで体に異常がなかったのは幸いでした。

これだけで不幸は終わりません。さらに続
くのです。百草園の直前の坂で、パンクをして
しまい、チューブを取り換えていると、虫とりに
来ていたがきどもが

「あーあ、こんなところでパンクしちゃってえ、
などと言うし、百草園はちっともおもしろくない
し、何も見えない天望台はあるし、さきとり換
えたチューブはスローパンクをしているしとい
ったことで不幸ばかり。

新観コンパに続いていやな日でした。